

令和2年1月13日  
 四国電力株式会社

伊方発電所3号機 原子炉容器上部炉心構造物  
 吊り上げ時の制御棒引き上がりについて（続報）

伊方発電所3号機（定格電気出力89万キロワット）は第15回定期検査中、原子炉容器の上部炉心構造物<sup>\*</sup>を吊り上げしていたところ、1月12日13時20分、制御棒1体が切り離されておらず、上部炉心構造物とともに引き上げられていることを、保修員が確認しました。（1月12日お知らせ済み）

その後、上部炉心構造物を下ろして当該制御棒を切り離し、再度上部炉心構造物を吊り上げ、当該制御棒が引き上がらないことを確認し、本日10時34分、上部炉心構造物の取り外しを完了しました。

今後、原因を詳細に調査します。

なお、本事象による環境への放射能の影響はありません。また、燃料取り出し作業に備えて、あらかじめ原子炉容器内の1次冷却材ほう素濃度を高めていることから、制御棒の有無にかかわらず、未臨界は維持されております。

（参考）

※：原子炉容器内の構造物のうち上部を構成する一体化構造物であり、上部炉心支持板、上部炉心支持柱、制御棒クラスタ案内管等から構成される。

